

## Unit 8 はじめてのカナダ旅行 (4時間)

本単元における小学校英語活動を生かした指導

本単元の話の内容は今後、Unit 11まで続いていく。そのため、それぞれのUnitにおいて話の流れがとぎれないような導入を考えていくことが大切である。本文のマイクと母の対話、バス停や空港での対話には、小学校英語活動で用いられた表現がたくさん使用されているので、小学校英語活動の場面を取り入れ、そこで使用した表現を思い出しながら、理解や表現の定着を図りたい。本単元は、本文が吹き出しの形で書かれているので、そのせりふを自分たちで考え発表するという話す活動に、小学校英語活動で音声として身に付いている表現を、自由に使用することで、積極的に話すことに取り組めるようにしたい。さらに、それぞれの場面に新たなさし絵を加えることにより、自由にせりふを表現することの楽しさを味わいながら、吹き出しの言葉を書く活動にも取り組めるようにしたい。以上のように、漫画の続きを考えてせりふを書くという活動は、生徒が関心をもって取り組めるとともに、書く力、話す力を養う上でも効果的であると考えられる。

### 1 目標

- ・ ものがどこにあるか尋ねたり、それに答えることができる。
- ・ Where~?の文と応答の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・ ものの持ち主について尋ねたり、それに答えることができる。
- ・ Whose~?の文と応答の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・ 人について尋ねたり、それに答えたりすることができる。
- ・ 人称代名詞の目的格の形・意味・用法を理解し、表現できる。

### 2 評価規準

	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
聞くこと	(言語活動への取組) 相手の話すことに関心をもち、積極的に質問している。 (コミュニケーションの継続) 内容が不明瞭な時は、問い返し会話を続けようとしている。		(正確な聞き取り) Where, Whose を用いた疑問文を正しく聞き取ることができる。  (適切な聞き取り) 相手の問いかけに適切に応じることができる。	(言語についての知識) Where ~? Whose ~?の文の意味・構造を理解している。  (文化についての理解) Oh, no! Sorry.など日常生活に根付いている言葉を理解している。
話すこと	(言語活動への取組) ペアワークに積極的に取り組み、協力し合っている。 (コミュニケーションの継続) Yes.のあと説明を加えるなどして、話し続けている。	(正確な発話) 疑問詞 Where, Whose を用いて、尋ねたり、答えたりすることができる。 (適切な発話) 聞かれたことに対して、適切に応答することができる。		(言語についての知識) ticket, computer, camera など、日英の発音の違いを身に付けている。 (文化についての理解) ほめられた時 Thank you.で答えることを理解している。
読むこと	(言語活動への取組) 家、バス停、空港での対話の内容に関心をもっている。 (コミュニケーションの継続) 理解できないところがあっても推測して読み続ける。	(正確な音読) 文の強勢や疑問文のイントネーションなど正しく音読できる。  (適切な音読) 様々な場面や心情に応じた音読ができる。	(正確な読み取り) マイクと友達の会話を正しく読み取ることができる。  (適切な読み取り) マイクと友達の会話の大切な部分を読み取ることができる。	(言語についての知識) Where~?と Whose~?の文の構造を理解している。  (文化についての理解) Sorry.や I'm late.など日常生活に根付いている言葉を理解している。
書く	(言語活動への取組) 間違っことを恐れず、学んだ表現を用いて書いている。	(正確な筆記) 学んだ表現を用いて文を書くことができる。		(言語についての知識) 人称代名詞の主格、所有格、目的格の違いを理解している。

こ と	(コミュニケーション の継続) 知っている表現を使 って書き続けている。	(適切な筆記) 場面に適する文章を 書くことができる。	(文化についての理解) with が所有を表すな ど広く使われることを理 解している。
--------	---	-----------------------------------	--

### 3 指導と評価の計画

(網掛けは、小学校英語活動を生かした活動・指導)

時 間	ねらい( )と 学習活動( )	指導上の留意点及び支援の工夫 「おおむね満足」に達していない生徒 への手だて	単元 の 評 価 規 準 と の 関 連	具体の評価規準 A 「十分満足」 B 「おおむね満足」 (評価方法)
1	<p>英語学習への意欲をもつ。</p> <p>① And I love her を歌う。</p> <p>Part1 の内容を理解し、Where~?の用法を知る。</p> <p>② さし絵を見て、吹き出しに入る表現を考える。</p> <p>③ ペープサートを使い、ペアで発表する。</p> <p>④ Part1 の内容を聞き取り、板書された表現と比べる。</p> <p>⑤ Part1 の新出単語を練習する。</p> <p>⑥ 本文の音読練習をする。</p> <p>⑦ Q and A で内容を確認する。</p> <p>Where~?を用いて質問したり答えたりすることができる。</p> <p>⑧ マイクの部屋を完成させるゲームをする。</p>	<p>代名詞を意識することができるように she と her に気を付けて歌うようにする。</p> <p>吹き出しは空欄にしておき、自由に表現を考えられるようにする。 小学校英語活動で触れている表現を自由に使うことで様々な表現を行えるようにする。</p> <p>言語の使用場面を意識できるように、登場人物をペープサートで示すようにする。 表現が定着するように、生徒が多く使った表現は板書する。 Where's~?It's~.の表現を説明し、内容を理解できるようにする。</p> <p>音と文字を結び付けられるようにフォニックスを取り入れた音声指導を行う。 文の強弱に気を付けるよう指導する。 読めない単語を個々に机間指導する。</p> <p>答えを英語で書くことで内容を確認できるようにする。 答えがキーワードのみ空欄のワークシートを使用することで、書くことに取り組めるようにする。</p> <p>ペアで違った情報の書かれた絵を見て質問し合うことで、言語材料の定着を図れるようにする。 小学校英語活動で行った物探しゲームで用いた前置詞を思い出すことで、自由に表現できるようにする。</p>	アイウエ	<p>マイクと母の会話を理解し、正しく音読している。 A 二人の会話を正しく理解し、文の強弱に気を付け、正しい発音で音読している。 B 物の場所が分かり、モデルに近付こうと読んでいる。 (観察、ワークシート)</p> <p>Where を用いて質問し、どこに何があるかが分かる。 A 積極的に活動に取り組み適切に説明することができる。 B Where で質問し、その答えが分かる。 (観察、ワークシート)</p>
	<p>英語学習への意欲をもつ。</p> <p>⑨ And I love her を歌う。</p>	英語の強勢を理解できるように、		

<p>Part2 の内容を聞き取り、Whose~?の用法を知る。</p> <p>10 さし絵を見て、吹き出しに入る表現を考える。</p> <p>11 ペーパーパートを使い、ペアで発表する。</p> <p>12 Part2 の内容を聞き取り、板書された表現と比べる。</p> <p>13 Part2 の新出単語を練習する。</p> <p>2 14 本文の音読練習をする。</p> <p>15 Q and A で内容を確認する。</p> <p>Whose~?を用いて持ち主を尋ねたり答えたりできる。</p> <p>16 4人の持ち物の特徴を説明し誰のものが尋ね、持ち主をさがす。</p>	<p>リズムに気を付けて歌うよう促す。</p> <p>吹き出しは空欄にしておき自由に考えられるようにする。</p> <p>小学校英語活動で触れている表現を自由に使うことで、様々な内容を表現できるようにする。</p> <p>表現が定着するように、生徒が多く使った表現は板書する。</p> <p>内容を正しく理解できるように Whose~? You're late. Sorry.の表現を説明する。</p> <p>発音の同じ father's と fathers の意味の違いを説明する。</p> <p>疑問文のイントネーションに気を付けるよう指導する。</p> <p>読めない単語を個々に指導する。</p> <p>答えを英語で書くことで内容を確認できるようにする。</p> <p>答えがキーワードのみ空欄のワークシートを使用することで、書くことに取り組めるようにする。</p> <p>本文の場面と関連した活動を行うために、持ち物の特徴を記した2種類のワークシートを準備する。</p> <p>尋ねられた人にだれの物が、特徴から判断し、答えるよう指示する。</p> <p>用いられている単語を説明するプリントを配り、理解を助ける。</p>	<p>アイウエ</p> <p>アイウエ</p>	<p>マイクと友達との会話を理解し、正しく音読している。</p> <p>A 友達の会話を正しく理解し、強勢やイントネーションを正しく読んでいる。</p> <p>B 誰のものが分かり、モデルに近付こうと読んでいる。</p> <p>(観察、ワークシート)</p> <p>持ち主を尋ねたり、答えることができる。</p> <p>A 分かりやすく説明し、持ち主を尋ねたり、答えたりすることができる。</p> <p>B Whose を用いて尋ね、持ち主を見付けることができる。</p> <p>(観察、ワークシート)</p>
<p>英語学習への意欲をもつ。</p> <p>17 And I love her を歌う。</p> <p>Part 3の内容を聞き取り、代名詞の用法を知る。</p> <p>18 さし絵を見て、吹き出しに入る表現を考える。</p> <p>19 さし絵を見ながら、ペアで発表する。</p> <p>20 Part3 の内容を聞き取り、板書された表現と比べる。</p> <p>21 Part3 の新出単語を練習する。</p> <p>3 22 本文の音読練習をする。</p> <p>23 Q and A で内容を確認する。</p>	<p>英語の特徴である語と語の連結について説明する。</p> <p>吹き出しは空欄にしておき自由に考えられるようにする。</p> <p>小学校英語活動で慣れ親しんでいる表現を自由に使うことで様々な内容を表現できるようにする。</p> <p>表現の定着を図るために、生徒が多く使った表現は板書する。</p> <p>代名詞の主格、目的格を説明し、内容を理解できるようにする。</p> <p>音と文字を結び付けられるようにフォニックスを取り入れた音声指導を行う。</p> <p>強弱に気を付けるよう促す。</p> <p>読めない単語を個々に指導する。</p> <p>答えを英語で書くことで内容を確認できるようにする。</p>	<p>アイウ</p>	<p>空港での会話を理解し、正しく音読している。</p> <p>A 空港での会話を正しく理解し、正しい強弱で読んでいる。</p> <p>B 人物について分かり、モデルに近付こうと読んでいる。</p> <p>(観察、ワークシート)</p>

	<p>場面の続きを考える。</p> <p>24 空港での会話の続きを考え、絵と吹き出しを書く。</p>	<p>答えがキーワードのみ空欄のワークシートを使用することで、書くことに取り組めるようにする。</p> <p>新出言語材料の定着を図るために代名詞の目的格を用いて吹き出しを考えるよう伝える。</p> <p>興味をもって取り組めるようにするため、2コマ自由に絵を描き、場面を増やすようにする。</p> <p>有名人紹介など、考えやすい場面についてアドバイスをし、活動に取り組めるようにする。</p>	<p>アイエ</p>	<p>本文の続きを考え書くことができる。</p> <p>A 代名詞を使って、自然な会話を考え、書くことができる。</p> <p>B 場面の続きを考え、書くことができる。</p> <p>(ワークシート)</p>
<p>4</p>	<p>英語学習への意欲をもつ。</p> <p>25 And I love her を歌う。</p> <p>課全体の復習をし、話題を確認する。</p> <p>26 教科書のさし絵を見ながら本文の音読をする。</p> <p>新出言語材料を用いて各場面での会話の続きを考える。</p> <p>27 続きの絵を描き、それに合った会話文を書く。</p> <p>28 友達の作品を読み合い、グループの代表が発表する。</p>	<p>暗唱できる生徒はさし絵のみで音読するよう促す。</p> <p>どんな場面での会話か理解できるようにさし絵を活用する。</p> <p>ペアの活動に、マイクの部屋、バス停、空港の中から場面を選ぶことで、具体的な場面を意識して活動することができるようにする。</p> <p>表現を定着できるように、できる限り Where, Whose, 代名詞の目的格を入れて考えるよう指示する。</p> <p>例文プリントを活用することで活動に取り組めるようにする。</p> <p>グループで代表作を一つ選ぶためにそれぞれの作品を読むことで、英語を読むことに興味をもてるようにする。</p>	<p>アイエ</p>	<p>場面に合う会話を考えることができる。</p> <p>A 適切な表現を使って、場面に合った会話を考えることができる。</p> <p>B 既習表現を使って、書くことができる。</p> <p>(ワークシート、発表)</p>

小学校英語活動を生かした指導に関わる 3 時間分

英語科学習指導案(Unit 8) 第 1 時 1/4

本時における小学校英語活動を生かした指導

本時は Where~?を使って、ものがどこにあるか尋ねたり答えたりできるようになることがねらいである。生徒は小学校英語活動において、居場所探しや出身地を尋ねる活動で Where の表現に慣れ親しんでいるので、今まで音声で理解し使用してきた表現を、文字で書くことにより、表現の正確な定着を図りたい。そのために、吹き出しのあるさし絵を使用し、自由にせりふを考えて、それを書くようにしたい。話す活動と書く活動を結びつけることで、自分の表現したいことを音声だけでなく、文字でも表現できる楽しさを味わうことができると考える。また、それが英語科学習への意欲を高めることにもつながると考える。

1 本時の目標

- ・ ものがどこにあるか尋ねたり、答えたりできる。
- ・ Where~?の文と応答の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・ Part 1 の内容を理解する。

2 準備

- ・ CD、ピクチャーカード、フラッシュカード、ワークシート、さし絵のワークシート  
ゲームシート

3 展開

時間	ねらい	学習活動	支援及び留意点	評価
5	英語学習への意欲をもつ。	英語であいさつをする。  And I love her の歌を歌う。	前時までの言語材料を使い質問することで、表現の定着を図れるようにする。 代名詞を意識できるように she と her に気を付けて歌うよう促す。	
10	Part1 の内容を理解し、Where~? の用法を知る。	さし絵を見て、吹き出しに入る表現を考え、書き入れる。  Where is ~? It's on (in, under) ~. Where do you ~? など  ペープサートを使いペアで会話を発表する。	ものを捜している場面であることを理解し、自由に吹き出しを考慮できるように、小学校英語活動で用いた表現などを使うように促す。  さし絵を参考に、マイクと母をペープサートで作り使用することで、言語の使用場面を意識して活動できるようにする。 発表でたくさん使われていた表現を板書し、定着を図れるようにする。	
20		Part1 の内容を聞き取り、自分達の表現と比べる。 Part1 の新出単語を練習し、p の読み取りと書き取りの練習をする。 peel, prefecture, tadpole, stop  本文の音読練習をする。 本文についての質問に答える。	Where's という短縮形や驚きの表現などを説明し、内容を理解できるようにする。 意味とつづり、読み方を定着できるようにするために、フラッシュカードを用いる computer, cap の p の発音指導と書き取り練習を小学校英語活動で触れた単語を使いフォニックスで指導し、音と文字を結び付けられるようにする。 文の強弱に注意するよう促す。 Q and A の答えを英文で記入することで内容を確認できるようにする。	本文を理解し、文の強弱に気を付けて読んでいる。
15	Where~?を用いて質問したり、答えたりする。	マイクのものがあるかを探し、マイクの部屋を完成させるゲームをする。	繰り返し表現を使用できるように、ものの位置などの異なった2種類のマイクの部屋の絵を使用し、ペアで質問するようにする。 小学校英語活動の物探しゲームで使った前置詞を使うことで、様々な内容を表現できるようにする。 in, on, under, next to, behind	どこに何があるかを探ねたり答えたりできる。

本時における小学校英語活動を生かした指導

本時は、Whose を使い、ものの持ち主を尋ねたり、答えたりする活動がねらいである。小学校英語活動において、持ち主探しや動物クイズなどで Whose を使った活動が行われてはいるものの、What などの疑問詞と比べ、英語活動において使用される機会はそれほど多くないため、Whose は生徒にはあまり慣れ親しまれている表現とは言えない。そこで、前時と同様、吹き出しのせりふを自由に考えさせる活動において、Whose を使うことにより、表現の幅が広がることを実感させたい。そして本文音読後、Whose の表現を定着させるために、本文の登場人物の持ち物探しというゲーム的要素を含んだ活動を行い、楽しみながら「聞く」「話す」活動で表現を繰り返し使えるようにしたい。

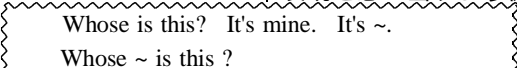
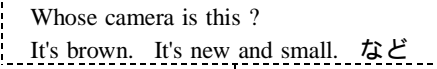
1 本時の目標

- ・ ものの持ち主について尋ねたり、それに答えることができる。
- ・ Whose~?の文と応答の形・用法を理解し、表現できる。
- ・ Part 2 の内容を理解する。

2 準備

- ・ CD、ピクチャーカード、フラッシュカード、ワークシート、さし絵のワークシート
- ・ ペープサート

3 展開

時間	ねらい	学習活動	支援及び留意点	評価
5	英語学習への意欲をもつ。	英語であいさつする。 And I love her を歌う。	前時までの言語材料を使い質問することで、表現の定着を図れるようにする。 リズムに気を付けて歌うことで、英語の強勢を意識することができるようにする。	
10	Part2 の内容を聞き取り、Whose~? の用法を知る。	さし絵を見て、吹き出しに入る表現を考え、書き入れる。  ペープサートを使い、ペアで発表する。	だれの物か持ち主を捜している場面であることを理解し、自由に表現を考慮することができるように、小学校英語活動で用いた表現を思い出すよう促す。 持ち主を尋ねる表現、生徒が多く使った表現を板書することで定着を図れるようにする。	
20		Part2 の内容を聞き取り、板書された表現と比べる。 Part2 の新出単語を練習する。 本文の音読練習をする。 本文についての質問に答える。	Whose~?の使い方、You're late. Sorry.の表現を説明することで内容を理解できるようにする。 意味とつづり、読み方を定着できるように、フラッシュカードを用いる。 father's と fathers の発音と意味について説明する。 暗唱できるように Read and Look up などでペアで繰り返し練習するよう指示する。 疑問文のイントネーションに気を付けるよう促す。 Q and A の答えを単語で書くことで内容を確認できるようにする。	本文について理解し、強勢やイントネーションに気を付けて読んでいく。
15	Whose~?を用いて持ち主を尋ねたり、答えたりできる。	4 人の持ち物の特徴を説明し、だれのものか尋ね、シートに記入する。 	本文と関連した活動を行えるように持ち物の特徴を絵と単語で表し、その持ち主を記した2種類のワークシートを作成するようにする。 持ち物を説明しやすいようにヒントとなる単語を示すようにする。	持ち主を尋ねたり、答えたりできる。

本時における小学校英語活動を生かした指導

本時の言語材料は人称代名詞の目的格である。小学校英語活動においては、代名詞の主格を用いた活動は多く行われているものの、目的格を用いた活動はほとんど行われていないようである。しかし、歌の中で For you, for me などの表現に触れたり、クイズの活動で Do you know him?などの表現には触れてきてはいるので、格の違いを説明し、今まで音として聞いてきた表現を文構造の中でとらえられるようにしたい。本時も前時と同様吹き出しのせりふを自由に考え、自分たちが表現したいことを書きながら、目的格を使用する有効性に気付けるようにしていきたい。また、書く活動に興味をもって取り組めるようにするために、本文の場面に新たな場面を自由に絵で加える工夫をする。絵を描くことは、文を書くことへの抵抗を和らげることになり、英文の意味を補うことになるので、生徒は楽しみながら、自信をもって書く活動に取り組むことができると考える。

1 本時の目標

- ・ 人称代名詞の目的格の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・ Part 3 の内容を理解する。

2 準備

- ・ CD、ピクチャーカード、フラッシュカード、ワークシート、さし絵入りワークシート

3 展開

時間	ねらい	学習活動	支援及び留意点	評価
5	英語学習への意欲をもつ。	英語であいさつする。 And I love her を歌う。	前時までの言語材料を使い質問することで、表現の定着を図れるようにする。 音変化を意識できるように語と語の連結に気を付けて歌うよう促す。	
8	Part3 の内容を聞き取り、代名詞の用法を知る。	さし絵を見て、吹き出しに入る表現を考え、書き入れる。  pretty, strong, big, Look at ~. Let's get his autograph. What do you do? Shall we ~? Where is she from? など	登場人物については名前を知らせ理解を助ける。 目的格にこだわらず、既習表現や小学校英語活動で使用した表現を使い、自由に書くよう促し、様々な表現を引き出せるようにする。	
17	さし絵を見ながら、ペアで発表する。 Part3 の内容を聞き取り、板書された表現と比べる。 Part3 の新出単語を練習し、m の読み取りと書き取りの練習をする。 move, medicine animal, farm 本文の音読練習をする。 本文についての質問に答える。	生徒が多く使った表現や代名詞を使った表現を板書して定着できるようにする。 代名詞の主格、目的格について説明し、内容を理解できるようにする。 意味とつづり、読み方を定着できるようにするため、フラッシュカードを用いる。 man, him, woman の m の発音指導と書き取り練習を小学校英語活動で触れた単語を使いフォニックスで指導し、音と文字を結び付けられるようにする。 Read and Look up などさまざまな読み方で繰り返し練習ができるようにする。 文の強勢に気を付けて読むよう助言する。 Q and A の答えを英語で記入することで内容を確認できるようにする。	本文の内容を理解し、文の強弱に気を付けて読んでいる。	
20	場面の続きを考える。	空港での会話の続きを考え、絵と吹き出しのせりふを書く。	本文の続きの絵を自由に2コマ描くことで、場面を考えた会話を考えることができるようにする。 代名詞の目的格を用いて吹き出しを考えるよう指示し、表現の定着を図れるようにする。	場面の続きを書くことができる。